

学校法人東海大学  
建学75周年  
記念事業報告書



ご挨拶 ..... 2

## 建学75周年記念事業

### ●特別プロジェクト設置

2013年度から学園を挙げて高大連携の議論を活発に進めてきました。特に「理科系教育の充実」を目指した試みもあり、大学、短期大学（部）、高等学校、中等部、小学校、幼稚園、さらには病院などの各機関との連携の下、学園全体一丸となり取り組めるプロジェクトの具体化を進めました。

..... 3

### ●施設整備

形のあるものを残すことは、在学生に限らず卒業生、保護者も含めて十分に意義があり、年度ごとに順次、積極的に整備を実施しました。

..... 3

### ●記念行事

機関ごとの縦割りではなく、学園を地域別（北海道・関東・静岡・九州など）に分けて、幼稚園から大学までの機関横断的な行事として実施し、併せて、スポーツ・文化イベントを開催しました。

..... 5

### ●記念誌刊行

『図録 東海大学 75 年』と『東海大学七十五年史』（通史篇・部局篇）の3冊を刊行しました。書籍だけでなくデジタル版も作成。さらに東海大学付属図書館ホームページの機関リポジトリで公開しています。

..... 6

募金報告 ..... 7

記念式典・記念祝賀会 ..... 8

学園マスタープラン ..... 9



学校法人東海大学  
総長  
松前 達郎

## 建学の精神と75年の歴史を基盤に 前進し続ける学園として未来を拓く

1942年、創立者 松前重義は、人類の幸福と平和の実現に向かって明日の歴史づくりを担う人材を育成する、との熱き理想を胸に、静岡県清水の地に学園を創立しました。以来、多くの同志、協力者の絆により、幾多の困難を乗り越えて、2017年、建学75周年を迎えるに至りました。今日、本学園は国内外に多くの教育・研究機関、附属施設等をもつ総合学園に発展しております。これもひとえに学園を支えていただいております多くの皆様のご理解、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

75年間、本学園は「変えてはならないもの」すなわち建学の精神と、思想を培う教育という原点を堅持しながら、常に時代の変化に先駆け、調和のとれた文明社会の建設のために挑み続けてまいりました。建学100周年を見据え、新たな船出となる今、私たちは改めて学園の歴史と原点を見つめ、創立者が示した理想、進むべき道と使命とを胸に前進を続けてまいります。

今後とも皆さまのご支援、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。



学校法人東海大学  
理事長・副総長  
建学75周年  
記念事業委員会 委員長  
松前 義昭

## 建学100周年に向けた“羅針盤”を整備し 建学の精神と学園のあるべき姿に向かって 力強く進んでいく

平素より本学園の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

学園のすべての活動は、建学以来掲げてきた、「明日の歴史を担う強い使命感と、豊かな人間性を持った人材の育成により、調和のとれた文明社会を建設する」ためのものです。現在、大学・短期大学（部）の各キャンパスで学んでいる学生一人ひとりもまた、その一翼を担う人材として、今後、社会に羽ばたいてくれることを確信しています。学生諸君が活躍する場で我々に見せてくれる生き生きとした表情、これは創立者 松前重義の教育に対する熱い思いが、力強く彼らの中に脈打ち、創立者に代わって語りかけてくれているのだと思います。

さて、建学75周年という節目の年にあたり、建学100周年に向けた学園の総合戦略として「学園マスタープラン」を策定しました。我々にとって変えてはならないもの、「建学の精神」を頂点に、「学園のあるべき姿」を明示しています。2042年に迎える建学100周年に向けた、未来への航海の“羅針盤”となるものです。この策定にあたり、学園のメッセージをより強く伝えるため、「先駆けであること」という言葉と併せ、マスタープランの内容や教職員の声も踏まえ、「Think Ahead, Act for Humanity」を掲げました。この言葉を、学園にかかわるすべての方々との合言葉にしていきたいと思っております。建学100周年に向けて、日本で、世界で、先駆けとなる新たな挑戦へのスタートを切りました。

今後とも、学園に対しまして、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 特別プロジェクト設置

2013年度から学園を挙げて高大連携の議論を活発に展開させ、建学75周年を目指して学園全体の教育の充実をはかってきました。具体的には、特に「建学の精神を次代へとつなぐプロジェクト」、「平和教育のためのプロジェクト」、「外国文化に触れるためのプロジェクト」、「理科系教育の充実を目指したプロジェクト」を主たる目標に掲げ、来るべき時代に対応すべき学園の将来像を見据えた教育体制の構築を進めてきました。

「建学の精神」に関しては、学園の創立以来「変えてはならないもの」、「変えていくべきもの」を明確にし、建学100周年に向けた総合戦略として「学園マスタープラン」を策定しました。その一環として、教育の根幹である「現代文明論」の充実をはかりました。具体的な成果が大学における「現代文明論」の講義の再構築であり、建学の歴史と精神をふまえながら未来を志向する講義内容が設定されました。

「理科系教育の充実」に関しては、昨今の科学技術の進展、特にICTの発展に伴う教育の整備を課題として取り組みました。初等中等教育でのICT教育の整備、充実は、実社会での実践力及び大学進学の際の基礎力の涵養に通じ、本学園が常に「先駆けであること」を意識した活動を展開してきたことにつながります。また、湘南キャンパスにおける理工系施設整備事業(18・19号館建設)もその一つであり、理工系人材育成の拠点の確立を意味します。学園全体が「精神的」にも「物質的」にも現代の科学技術文明を担う若者を育て輩出する使命を担っていることを再確認し、今後も整備を進める予定です。

「平和教育」及び「外国を意識した国際人としての教育」に関しては、グローバル化が進むなかで多様性が叫ばれるという複雑な様相を呈する現代社会のニーズに応えられるべき人材育成の拠点整備を進めました。特に「日デ外交樹立150周年記念シンポジウム」を開催し、学園の教育のルーツの一つであるデンマークとの交流の充実をはかり、また平和戦略研究所の再設置により国際情勢に対応できる体制の確立を進めました。

これらの特別プロジェクトの成果を次のステップへの出発点とし、大学や大学院などの高等教育機関、高等学校や中等部、小学校、幼稚園などの初等中等教育機関、さらには病院などの各機関とのさらなる連携を進めることで、次代へとつながる学園の研究・教育体制のより一層の整備、充実を進めてまいります。

## 施設整備

建学75周年を機に各キャンパスで校舎の新築やスポーツ施設の整備を行いました。今後もより快適で利用しやすいキャンパスとなるよう環境を整えてまいります。

- ◇東海大学湘南キャンパス：理工系施設整備事業 Science Plaza (18号館) 及び Techno Cube(19号館) 建設、2号館大ホール改修、高間原第一グラウンド人工芝化
- ◇東海大学伊勢原キャンパス：松前記念講堂建設
- ◇東海大学札幌キャンパス：第一体育館建設
- ◇東海大学医学部付属病院：附属棟建設
- ◇東海大学医学部付属八王子病院：研修棟2建設
- ◇東海大学付属相模高等学校：松前記念総合グラウンド人工芝化
- ◇東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部：建学記念総合グラウンド人工芝化
- ◇東海大学付属熊本星翔高等学校：松前記念サッカー場人工芝化
- ◇東海大学付属札幌高等学校：新校舎建設
- ◇東海大学付属福岡高等学校：総合グラウンド人工芝化
- ◇東海大学付属仰星高等学校・中等部：松前記念総合グラウンド人工芝化
- ◇東海大学付属静岡翔洋幼稚園・付属本田記念幼稚園・付属自由ヶ丘幼稚園・付属かもめ幼稚園：認定こども園開設に伴う園舎建設・増改築
- ◇初等中等教育機関：ICT教育環境整備
- ◇東海大学各キャンパス：校舎・スポーツ施設等の環境整備
- ◇各短期大学(部)・付属各高等学校・中等部・小学校・幼稚園：校舎・体育館・野球場・グラウンド等の環境設備



2号館大ホール改修(湘南キャンパス・2017年10月)



Science Plaza (18号館) 建設 (湘南キャンパス・2014年4月)



松前記念講堂建設 (伊勢原キャンパス・2015年3月)



第一体育館「TOKAI ARENA」建設  
(札幌キャンパス・2015年4月)



Techno Cube (19号館) 建設 (湘南キャンパス・2017年3月)



ICT教育環境整備  
(東海大学附属高輪台高等学校・中等部・2015年6月)



新校舎建設 (東海大学付属札幌高等学校・2016年3月)



松前記念サッカー場人工芝化 (東海大学付属熊本星翔高等学校・2012年7月)

## 記念行事

全国の各機関において、さまざまな記念行事が開催されました（主な行事のみ掲載）。

### ●望星学塾特別研修

#### 「松前重義の教育観に学ぶ旅 農村青年教育の足跡を訪ねて」を開催

学園の創立者 松前重義が、福島県で実践した農村青年教育の足跡を訪ねる研修旅行を、学校法人東海大学望星学塾が2017年10月14日に開催しました。



### ●日デ外交樹立150周年記念シンポジウムを開催

日本とデンマークの外交樹立150周年を記念するシンポジウム「日本とデンマークの現在と未来—教育による持続可能な社会の実現—」を、2017年11月17日に湘南キャンパスで開催しました。



### ●竹内三統流柔術の模範演武披露会を開催

東海大学付属熊本星翔高等学校で2017年11月2日に举行された学園の建学75周年記念式典で、創立者 松前重義が免許皆伝を受けた古武術「竹内三統流柔術」の模範演武が披露されました。



### ●「東海大学75年 写真から見る75年の歩み」を開催

2017年10月31日～11月3日、湘南キャンパス4号館で建学75周年記念企画展示「東海大学75年 写真から見る75年の歩み」を開催しました。



## ●松前記念館企画展示

### 「基本は現代文明論(ゲンブン)」を開催

建学75周年記念展示「基本は現代文明論(ゲンブン) 正しいもの  
の見方・考え方とは? 東海大学の教育の根幹を顧みる」を、松前記  
念館で2017年10月2日から2018年8月10日まで開催しました。



## ●東海大学望星無線クラブ建学75周年記念局を開局

工学部電気電子工学科の学生と教職員が中心となって運用しているアマ  
チュア無線局「東海大学望星無線クラブ」が、建学75周年の記念局を開局。  
全世界のアマチュア無線愛好家と交信できる公開イベントを行いました。



[学生による活動]

## ●「2017 プリヂストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ」 に参戦

東海大学チャレンジセンター・ライトパワープロジェクトのソーラーカー  
チームが、世界最大級のソーラーカーレース「2017 プリヂストン・ワールド・  
ソーラー・チャレンジ」(2017年10月8日~15日開催)に出場。新レギュレー  
ションに対応した新型マシンで参戦しました。



## 記念誌刊行

建学75周年記念事業の一環として『東海大学七十五年史』を編  
纂しました。通史篇、部局篇、図録の3冊で構成されています。

「通史篇」はA5判本文965ページ。学園の創立者松前重義につ  
いて記す序章を含め、学園の建学から2017年11月までの  
歴史について、全体の流れを著述したものです。

「部局篇」はA5判本文1,335ページ。大学の学部や短期  
大学(部)、附属諸学校といった教育機関の他、各種の付  
置研究機関や教育支援施設など88部局について、それぞ  
れの開設から2017年11月までの歴史を個別に記したもの  
です。

『図録 東海大学75年』はA4判オールカラーで本文75ペー  
ジ。写真を多用した“目で見てわかる学園史”です。別冊資料  
として松前達郎総長講話録「東海大学建学の思想とその源

泉」、さらに東海大学吹奏楽研究会(湘南)が演奏した「建学の  
歌」「東海大学校歌」を収録したCDが付いています。デジタル版  
は、建学75周年記念事業募金にご寄付をいただいた皆様に配  
布しました。



# 募金報告

2012年7月の開始以来5年9か月間の募集期間中に、募金目額50億円に対して、3,742,271,203円の貴重な浄財が寄せられ、74.8%の達成率を上げることができました。

ご協力をいただいた一般篤志家、在学生保護者、白鷗会員、不知火会員、同窓会員、学園教職員、企業等法人、学園後援会・PTA・同窓会その他多くの校友の方々に厚く御礼を申し上げます。

寄せられました浄財は、学園教育機関の施設・環境整備、教育・研究活動の推進等を使用として有意義に活用させていただきます。

## ●募金の名称

学校法人東海大学建学75周年記念事業募金

## ●募金対象事業

1. 東海大学の教育・研究棟建設
2. 短期大学（部）、初等中等教育機関、付属4病院の環境整備
3. 教育・研究活動の推進

●募金目標額 50億円

## ●募金対象

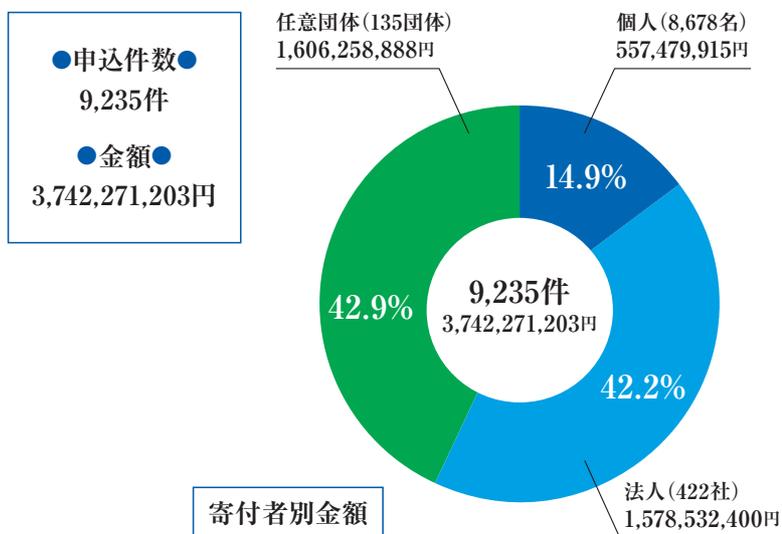
学園教職員、校友会員、一般篤志家等の個人並びに企業等法人

## ●募集期間

2012年7月1日～2018年3月31日（5年9か月）

●募集金額 個人1口1万円 法人1口5万円

## 建学75周年記念事業募金 寄付申込件数・金額



## ●募金対象事業に対する寄付金使途別金額

総事業費（19,780,300,000円）に対する各事業の割合による寄付金配分額

項目	金額 (円)
1. 東海大学の教育・研究棟建設	2,520,793,881
2. 短期大学（部）、初等中等教育機関、付属4病院の環境整備	957,647,201
3. 教育・研究活動の推進 (ICT教育活動事業費は完成年度まで含む)	263,830,121
合計	3,742,271,203

## 東海大学湘南キャンパス2号館大ホール改修椅子募金

設置した椅子の背面に取り付ける芳名プレートの寄付者を「アニバーサリーシートドナー」として募集を行いました。

## ●募集期間

2017年3月28日～2018年3月31日

## ●寄付金額

5万円/1席 ※最大20席まで

## ●改修座席数

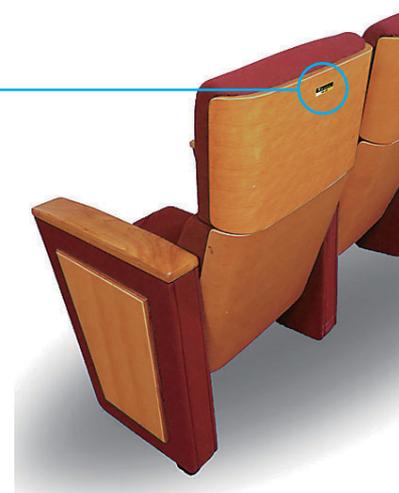
1,868席

## ●申込席数

1,003席

## ●金額

50,150,000円



## 建学75周年記念事業募金寄付者銘板の設置

2018年11月1日、建学76周年記念式典に先立ち、学園関係者や校友会員ら多数が参列して、湘南キャンパス松前記念館前に設置した寄付者銘板の除幕式が行われました。

この銘板には、2012年7月の募集開始から2018年3月終了までの募集期間にご寄付を賜り、掲載に同意された方のご芳名を刻銘して顕彰させていただいております。

### 寄付者芳名録

ご寄付をいただいた方の「寄付者芳名録」を作成し、末永く顕彰させていただいております。

また、建学75周年特設サイトに、寄付者をご紹介させていただきました。



## 建学75周年記念式典

### —建学の精神を再確認し 100周年に向け新たなスタート—

2017年11月1日、湘南キャンパス2号館大ホールで「学校法人東海大学建学75周年記念式典」が、学園関係者のほか多数の来賓をお招きし、盛大に挙行されました。式典には、ブルガリア共和国、デンマーク王国など各駐日大使から大使館関係者のほか、国外の大学からも来賓が出席し、学園関係者、保護者、同窓生などが参列。リニューアルされた2号館大ホールは満席となりました。開式にあたって松前義昭理事長から、建学100周年に向けた総合戦略「学園マスタープラン」が発表されました。



## 建学75周年記念祝賀会

### —学園関係者が集まり建学75周年を祝う—

「建学75周年記念祝賀会」が2017年11月4日、東京・霞が関の東海大学校友会館で開催されました。会は第一部・第二部に分けて実施され、第一部は東海大学のキャンパスや附属諸学校のある地域の関係者ら約250名が参加し、第二部は関東地区の関係者ら約750名が、学園の節目を祝うために参集しました。また、祝賀会の出席者には、「図録 東海大学75年」の冊子とともに、農学部と地元農園が共同開発したジャム（2種セット）の記念品が配布されました。



# 学園マスタープラン

TOKAI CENTENARY PLAN ~ Voyage to 2042 ~  
2042年、建学100周年に向けて



Think Ahead, Act for Humanity

～先駆けであること～

## ●学園マスタープランとは

学校法人東海大学が、建学100周年を迎える2042年においても、建学からの一貫した教育理念に基づく人材育成により、調和のとれた文明社会の建設に邁進する学園であり続けるための、学園の総合戦略です。

## ●建学の精神【使命】

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりました。特にデンマークの教

育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の原点があります。創立者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げました。

若き日に汝の思想を培え

若き日に汝の体軀を養え

若き日に汝の智能を磨け

若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くと共に、人間、社会、自然、歴史、世界などに対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。

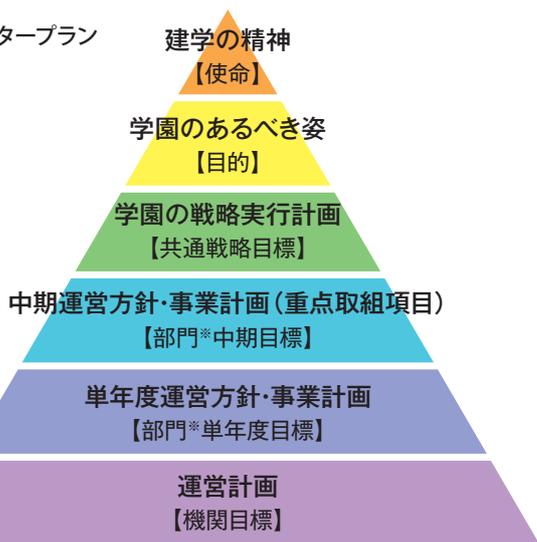
本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

## ●学園のあるべき姿【目的】

### 建学100周年に向けた学園が目指すビジョン

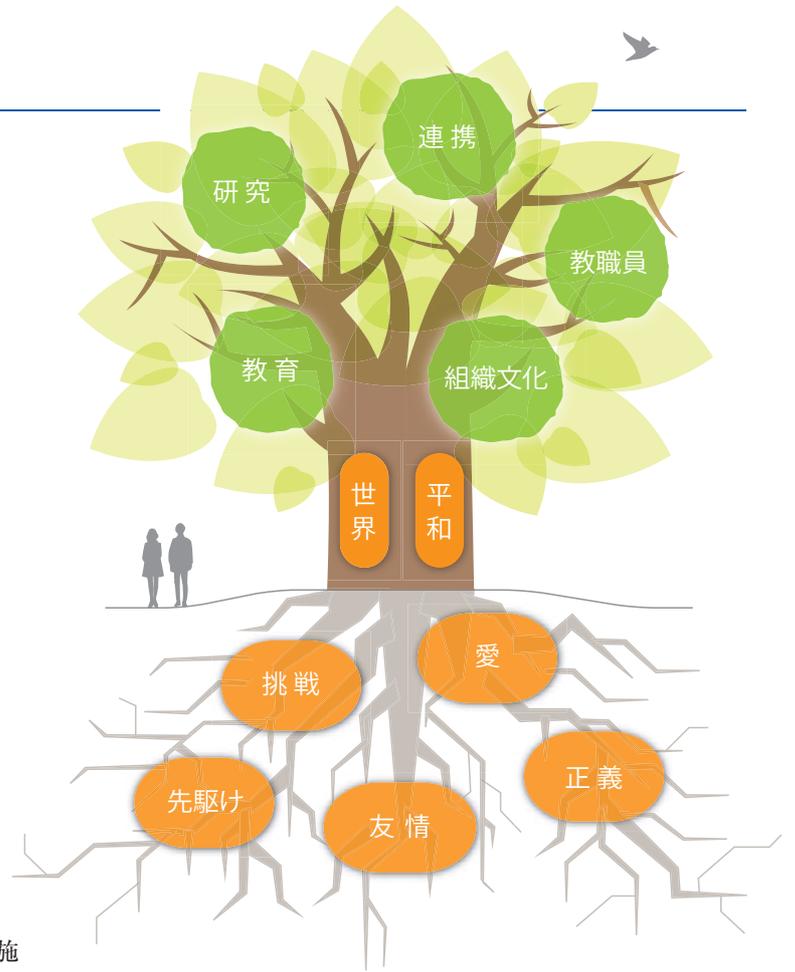
学園が築いてきた歴史と伝統の根底にあるスピリット、すなわち「挑戦」「友情」「正義」「愛」「先駆け」を礎とし、建学以来見据えてきた「世界」「平和」を基軸にして、学園共通の価値、行動指針を表したものが「学園のあるべき姿【目的】」です。

▶学園マスタープランの階層



※部門：法人管理部門、高等教育部門、初等中等教育部門、医学部付属病院部門

- 〔教育〕 地球市民として未来を創造していく  
人材を育成する学園
- 〔研究〕 人類の恒久平和と福祉の向上に寄与する  
研究を推進する学園
- 〔連携〕 教育・研究の成果を広く社会へ還元する  
開かれた学園
- 〔教職員〕 多様な人材が対話と協働を通して  
挑戦し続ける学園
- 〔組織文化〕 思いやりと温かな心をもって  
全ての人々に関わる学園



## ●学園の戦略実行計画【共通戦略目標】

学園のあるべき姿【目的】を実現するための、  
中・長期的な目標

建学100周年に向けた「教育研究基本方針」「財務」「人事」「施設設備」の4項目における課題、達成目標及び行動計画を明確にしたのが「学園の戦略実行計画【共通戦略目標】」です。

### 教育研究基本方針

〔戦略目標〕

1. 一貫教育を基軸とした文理融合教育の推進
2. 個人・文化の多様性や価値観を受容し、相互理解を深める教育の展開
3. 新たな社会的価値を創造できる研究体制の構築

### 財務

〔戦略目標〕

1. 安定した財政基盤の早期確立・維持
2. 施設設備の整備に向けた資金計画の立案・実施

### 人事

〔戦略目標〕

1. 教職員の能力を引き出す人事制度の整備
2. 教職員の仕事、能力、成果及びワークライフバランスに応じた給与・福利厚生制度の整備
3. 多様な力を養成する研修体系の構築

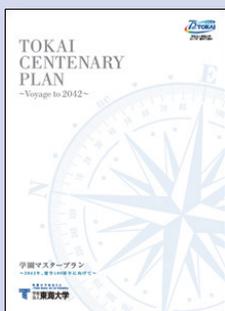
### 施設設備

〔戦略目標〕

1. 施設の有効活用を踏まえた効果的・効率的な施設整備の推進
2. 経営情報に関する基幹システムの構築

※上記、戦略目標におけるKGI及びそれを達成するための検討課題・行動計画・KPIについては、内部経営情報のため、非公開としています。

## ●学園マスタープランについて



建学75年の歩み、学園マスタープランなどの動画は「学校法人東海大学（公式）」チャンネルでご覧いただけます。

### ◇学園紹介ムービー

創立者・松前重義の理念と学園の使命を基盤として、これまで取り組んできた事業について紹介する動画「建学75周年の歩み篇」と、建学100周年に向けた学園の姿勢を、学園マスタープランの内容と共に紹介する動画「学園マスタープラン篇」があります。



建学75年の歩み篇



学園マスタープラン篇

### シンボルマーク



学校法人東海大学では、建学 75 周年記念事業の基本テーマを「建学の精神を受け継ぎ、変革を続け、成長する東海大学」と掲げました。このテーマに基づいて制定された「建学 75 周年記念事業シンボルマーク」は、建学の精神を再認識することを踏まえ、東海ブルーを基調としたカラーを採用。マークの右上には、学園が四半世紀の節目ごとに建学 100 周年に向かって発展していく様子を、水面に広がる4つの波紋で表現しました。また、この4つの波紋全体を上に向けることで翼、すなわち空を表すとともに、マーク下部には全体を包み込むように大きな曲線を配し、東海大学の名称の由来である「ユーラシア大陸の東の海」を、未来に向かって先導する船をモチーフにして象徴化しました。



学校法人  
**東海大学**

学校法人東海大学建学 75 周年記念事業委員会  
〒 151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷 2 丁目 28 番 4 号  
TEL.03-3467-2211 (代表)

<https://www.tokai.ac.jp/>